



2

February

平成 31 年 No.119

発行：社会福祉法人 育和会

〒791-1201

愛媛県上浮穴郡久万高原町久万 1447

TEL:0892-21-0777

 社会福祉法人 育和会

## 「誰かの力になれる」

NIKO NIKO 館には小学校 4 年生以上を対象とした、ジュニアボランティアグループ「遊友団」があります。他学年、他学校の子どもたちが所属する少人数グループのため、普段は交流の少ない友だちと特別な絆が育まれています。久万高原町には子どものいない限界集落があり、遊友団は出前カフェを持参して高齢者サロンで交流活動を行っています。

子どもたちは、様々な世代の方との交流を通して、自分自身が誰かの力になれることを知り、その経験が自信に繋がっているようです。そして、子どもたちの力が互いに助け合い尊重し合う地域へ受け継がれていくことが私たちの願いです。

(渡部 梨香)



## 『子どもたちの成長』

我が家の双子の娘達の授業参観に行った時のことです。生命の誕生のプロセスを先生が説明しているときに一人の児童が「じゃあ双子はどうやって産まれるんですか？」と質問していました。娘達がクラスにいるからなのか、関心をもつ子がいて驚きました。産みの親である私にもどうしてなのか、説明できませんが、生命の誕生とは本当に不思議なものだと改めて感じました。

私は保育教諭として、たくさん子どもたちに囲まれ仕事をしています。一人ひとり家族からたくさんの愛情を注がれ、誕生して成長していく姿は本当に愛おしく、驚きと感動でしかありません。そんな子ども達に囲まれ、毎日仕事ができる事に感謝し、パワーをもらっている毎日です。

(松下 昭子)



## 久万こども園 (幼保連携型認定こども園)

いちごグループの赤ちゃん達は、毎日部屋中を元気よくハイハイしています。

なぜ、ハイハイができるようになるのでしょうか。

四肢の筋肉の発達と共に視聴覚や認知機能の向上によって「頭を持ち上げて手足を動かし、別の場所に移動したい」という意欲がおこるからだそうです。

ハイハイをする姿には「あそこに行きたい!」「あれが欲しい、触りたい!」というしっかりとした赤ちゃんの意思が感じられます。お座り、ハイハイ、つかまり立ちと自分の身体をコントロールできるようになる喜びにあふれ、その成長ぶりに日々感動を覚えています。

自由に動き回れる安全な環境を整え、「～したい」という赤ちゃんの好奇心

や意欲を引き出す保育を心がけています。(村田 由美)



狭い所、隅っこは好奇心をくすぐります。



「今、いくよ～」保育教諭のもとへ。



ボールプールはつかまり立ちのちょうどいい高さです。

## NIKO NIKO 館 (児童館)

NPO どんどこプロジェクト (子どものための児童館とNPOの協働事業)

地域と、皆と、ゆる～く繋がるNIKO NIKO館 Part5  
“防犯、防災に強い町づくり・子どもと地域のネットワーク”

今年も社協と協働し、各地域へ出前カフェを実施。地域の方と交流を通して、自分の町が元気になり、またお互いに防災や防犯の意識を高めながら、いざという時、自分たちが地域の助ける力になることを学んでいきます。

NIKO NIKO 館 子ども店長 “子どもの町オープン”

今年もまちなか交流館で子どもたちが自分たちで考えたお店をオープンします。

これまで出前カフェで接客対応を経験してきた子どもたちが、自分たちの考えたお店を町内で行われるイベント(くままちなまつり)でオープンします。今回は、防災・防犯に強い町作りで学んだことを紹介するコーナーも設置します。子どもたちのこんなことやりたい!という、様々な意見を出し合い、素敵な子どもの町にしたいと思いますので、皆さんぜひお越し下さい。

日程: 2月24日(日) 10時～

場所: くまくるまるしえ まちなか交流館にて  
<昨年の様子>

「ためしよみやさん」「子どもカフェ」「あそびコーナー」など、準備から接客や販売、地域の方に積極的に声を掛け、子ども店長として活動を行いました。地域に出向き、様々な人と触れ合うことで、一人ひとりが自信を持って活動に取り組む姿が自然に見られ、個々の成長を感じることができ、子どもの力で地域全体が元気になりました。(大堀 純子)

【どんどこプロジェクト実施主体】

主催: 特定非営利活動法人 日本NPOセンター

協力: 財団法人 児童健全育成推進財団

協賛: 一般財団法人 住友生命福祉文化財団

NIKO NIKO 館からの  
お知らせ  
お願い

バレンタインのお菓子作りをしませんか?  
大切な人に…自分へのご褒美に…

2月9日(土) 13:00～

定員 5名

参加費 200円

申込み先 21-2335 (石岡まで)



## 放課後子ども教室

【学校・家庭・地域連携推進事業】

### 【活動報告】

花育キッズ 講師: 渡部 千恵美 さん  
スタッフ: 渡部 梨香

第4回の花育キッズは“お正月飾り”を作りました。水引や花をバランスよく飾り、やなぎの枝には、こめ粉粘土を使って紅白のまゆ玉を付け完成しました。

初めての参加者も花に親しみながら、またいつもと違う仲間と触れ合いながら、楽しく活動しました。また次回、ここに様々な人が集い活動できることを楽しみにしています。(大堀 純子)



## NIKO NIKO クラブ(学童保育)

「世界丸見え大調査!」 Book にしました。1年間通して、1ヶ月に1カ国について調べる企画「世界丸見え大調査」もいよいよ終盤を迎えました。子どもたちが、本などで調べた知識やその国について知っていることを専用ポストに投函する形式で、様々な情報が集まりました。集めた情報は、子ども達によって集計され、マップになります。はじめは大きなポスターにまとめていたマップでしたが、作るのも見るのも大変!という問題が…。そこで、子どもたちが、作成しやすいサイズのブック型に変更し、一冊で調べた国がすべて見られる形に収まりました。NIKO NIKO 館にしかない「世界」を集めたブック。ぜひご覧下さい。(渡部 梨香)



どっちが大きまん調べられるか勝負!



調べた国を地図で見よう



本みたいに見やすいマップ

## Happy House

いつの間にか成長していますね…。「前はお話の途中に立って歩いて聞けなかったのに……。ちゃんと座って絵本が聞けるようになったのですね。うちの子もですけど、みんな成長したなあって思いました。」

ふれあい広場に参加されたお母さんからお聞きしました。毎週一回のふれあい広場ですが、子どもたちもすっかり慣れて、名前を呼ばれるとお返事をしたり、絵本の世界と一緒に楽しんだりできるようになりました。子どもたちは、大人が気づかないうちに日々成長し変わっています。そんな子どもたちの成長に気がつかれたお母さん、さすがですね!

(水谷 伴美)



おっつと〜



はい、どうぞ



絵本の読み聞かせ

### Happy カフェ 「Happy 子育てトーク～バレンタインスペシャル～」

日時：2月12日(火) 10:30~11:30

場所：Happy House

内容：バレンタインデーにちなんで、恋愛エピソード、夫婦のこと、家族のことなどみんなでおしゃべりしましょう。

その他：同室託児です。温かい飲み物でリラックス。ゆっくりおしゃべりしましょう。お母さんには、チョコレートのプレゼントあります♡

Happy House  
からの  
お知らせ  
お願い



## 家庭教育支援 久万高原 Happy サポート

### 「ハッピー子育てトーク」 ～ほっとするような雰囲気の中で～

自然な語らいの場として、お茶をいただきながらゆったりと進めていく「ハッピー子育てトーク」。リラックスした雰囲気の中でお互いに自分を表現し合えるような構成になっています。子どものこと、家庭のこと、自分自身のことなどを、自由に語り合って思いを共有します。気になっていることも「わたしだけじゃなかったんだ。みんなもそう思っているんだ。」と、気持ちが楽になり、子育てへの意欲も湧いてきます。お互いの気持ちを分かち合うことでお母さん同士の関係も育ちます。ハッピーハウスで妊娠期からお子さんの乳幼児期を共に過ごして育んだつながりは、これからもずっと続いていくことでしょう。

2月はバレンタインスペシャルです。子育てトークで話す楽しさと聞いてもらえる心地よさを味わい、ほっとひと息してみませんか。

(今井 久美子)



昨年の「ハッピー子育てトーク」バレンタインスペシャル



レターセットを用意して大切な人へ手紙を



月	火	水	木	金	土	日
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 久万こども園</li> <li>● Happy House</li> <li>● NIKONIKO 館</li> <li>● つどいの広場</li> <li>● 保健センター</li> </ul>				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

## スタッフ紹介

『無人島に行くとしたら何を持って行きますか?』



清水 由美子

物ではないのですが、『家族』が真っ先に浮かびました。家族と一緒に心強いらさうなと思います。



脇川 ひかる

「 TENT 」子どもを出産してから夜ぐっすり眠れる事がなくなりました。その生活に慣れてきましたが、もう一度、時間を忘れて静かな無人島でテントを張ってぐっすり眠りたいです。



白川 真理

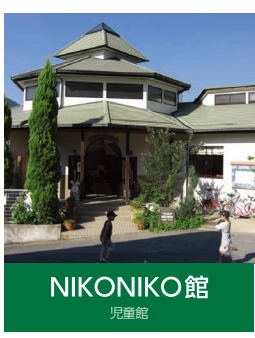
自宅が山の中で、湧き水を引いて毎日飲んでます。田舎暮らしが心地いいんです。1日1Lは飲みたいので(笑)無人島に滞在する日数×1Lを持って行きたいです。



**久万こども園**  
幼保連携型認定こども園  
〒791-1201  
愛媛県上浮穴郡久万高原町久万1447  
TEL:0892-21-0777  
FAX:0892-21-0772  
hoiku@ikuwa.or.jp



**Happy House**  
地域子育て支援センター  
〒791-1201  
愛媛県上浮穴郡久万高原町久万1444-5  
TEL:0892-21-3192  
FAX:0892-21-3191  
sien@ikuwa.or.jp



**NIKONIKO 館**  
児童館  
〒791-1201  
愛媛県上浮穴郡久万高原町久万1457-1  
TEL:0892-21-2335  
FAX:0892-21-3222  
niko@ikuwa.or.jp



●協力者(12月1日~12月31日)(敬称略・順不同)  
愛媛県建設業協会 上浮穴支部  
ご支援、ご協力いただきました。感謝申し上げます。